

Radek Baborák

コントラバス
ダニエル・ルピナス (D.K.)

バボラー・アンサンブル
ヴィオラ
カレル・ウンターミューラー

モーツァルト
歌劇「ドン・ジョヴァンニ」
序曲 K.527

モーツァルト
セレナーデ 第6番 二長調 K.239
「セレナータ・ノットウルナ」**

モーツァルト
ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K.447*

ドヴォルザーク
チェコ組曲 二長調 op.39

指揮・ホルン／ラデク・バボラーク*

共演／バボラー・アンサンブル**

世界的ホルン奏者
バボラークと
チェコの盟友達が魅了

バボラー・アンサンブル
ヴァイオリン
高橋紘子

バボラー・アンサンブル
ヴァイオリン
マルティナ・パチヨバー

2025 **12.4** **木** 19:00開演 (18:15開場) / **5** **金** 14:00開演 (13:15開場)

▼ TICKET 全席指定

S席 5,000円 / A席 4,000円 / 桟敷席* 2,500円

*桟敷席は靴を脱いでお座りいただきます。お席によっては他のお客様が視界に入り、見えにくい場合がございます。

すたあらいと席 1,000円 / 車椅子席 5,000円

お得な割引

OEK定期会員割引 (S・A席のみ) ▶ S席 4,500円 / A席 3,600円
シニア割 (65歳以上 S・A席のみ) ▶ S席 4,750円 / A席 3,800円
U25割 (25歳以下 前日より電話予約可) ▶ 全席当日券 半額

*シニア、U25は要年齢証明書

託児ルーム (有料) あります。TEL 076-232-8111 11/24 (月) 17:00までにお電話にてお申込みください。

*出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。
ご了承ください。※未就学児の入場はご遠慮ください。

◎主催：(公財)石川県音楽文化振興事業団 ◎助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) / 独立行政法人日本芸術文化振興会

▼ PLAYGUIDE プレイガイド

石川県立音楽堂チケットボックス TEL 076-232-8632

(窓口9:00-19:00/電話10:00-18:00) ※休館日:10/6、11/17

WEBからの購入もできます。https://www.ongakudo.jp/

●チケットぴあ (Pコード:300-837) ●セブンチケット (7コード:111-511)
●ローソンチケット (Lコード:57972) ●イープラス eplus.jp ●teket (テケト) →



Orchestra Ensemble Kanazawa Special Subscription Concert Vol.2
Thursday 4 December 2025, 7pm Friday 5 December 2025, 2pm ISHIKAWA ONGAKUDO Hogaku Hall
Radek Baborák, Conductor & Horn Baborák Ensemble, Guest
W.A.Mozart : Don Giovanni, Overture K.527
W.A.Mozart : Serenade No.6 in D major, K.239 "Serenade nocturna"
W.A.Mozart : Horn Concerto No.3 in E flat major, K.447
A. Dvořák : Czech Suite in D major, op.39

名手バボラークと仲間たちが魅せる音楽の極み!

元ベルリン・フィル首席ホルン奏者、ラデク・バボラークがOEKと共演する。バボラークは超人的な技巧と柔らかく美しい音色によって、ホルンという楽器の概念を変えてしまったほどの名手。近年は指揮者としての活動にも力を入れ、音楽家としての幅を広げている。モーツァルトとドヴォルザークでその手腕を存分に発揮してくれることだろう。「セレナータ・ノットウルナ」では気心の知れたバボラーク・アンサンブルと共演する。

文：飯尾洋一（音楽ジャーナリスト）

指揮・ホルン ラデク・バボラーク

Radek Baborák
Conductor/horn

1976年チェコ生まれ。94年にミュンヘン国際コンクールで優勝、「美しく柔らかな音色」、「完璧な演奏」、「ホルンの神童」と評される。小澤、バレンボイム、レヴァインなどトップクラスの指揮者の信頼も厚く、ソリストとしてベルリン・フィルはもちろん、ウィーン・フィル、バイエルン放送響等と圧倒的な名演を残し続けている。これまでチェコ・フィル、ミュンヘン・フィル、バンベルク響、ベルリン・フィルのソロ・ホルン奏者を歴任。さらに、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管をはじめとする世界のオーケストラにも参加。近年は指揮者としての活躍も目覚ましく、チェコ・シンフォニエッタを創設。ヨーロッパや日本での客演も重なる。山形交響楽団ミュージック・パートナー、西ボヘミア交響楽団首席指揮者。



© Lucie Cermakova

バボラーク・アンサンブル Baborák Ensemble

ホルン奏者、指揮者のラデク・バボラークにより創設。アンサンブルの主な編成はフレッチホルンと弦楽四重奏だが、各作品のスタイルに応じて形を変えている。2016年に行った日本ツアーは、モーツァルト・プログラムで全国各地を席巻、NHKでもテレビ収録された。2018年にも再び来日、好評を博した。プラハの春音楽祭、スメタナ音楽祭、ヤナーチェク音楽祭、ベルリンのブーレーズ・ザール等からも定期的に招かれ、

プラハの聖アグネス教会ではレジデントアーティストを務めた。ピアノなどダンス音楽を中心としたプロジェクト「ORQUESTRINA」はベルリン・フィルハーモニーの室内楽ホールが熱狂に包まれた。モーツァルト・アルバム、ピアノソナタ作品集などCDリリースも多い。最新盤はホルンと弦楽四重奏のためのブラームス、グラズノフ、シベリウス作品集。

オーケストラ・アンサンブル金沢

Orchestra Ensemble Kanazawa

1988年、岩城宏之が創設音楽監督を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。石川県立音楽堂を本拠地とし、北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演など年間約100公演を行っている。シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノフェスティヴァルなど、音楽祭からの招聘を含む20度の海外公演を実施。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス（現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー）制を実施。ジュニアの指導、邦楽との共同制作など育成・普及活動にも積極的に取り組む。メジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。2022年9月より広上淳一がアーティストック・リーダーを務める。



次回の定期公演のご案内

2026年1月30日(金)19:00開演/1月31日(土)14:00開演
夢の共演。2人のソリストによる3つの協奏曲

OEK特別定期公演Vol.3のご案内

吉崎理乃(指揮)
アレクサンドル・メルニコフ(ピアノ)
イエールン・ベルワルツ(トランペット)



©Marco Borggreve ©Tsuyoshi Tachibana



公演詳細は
HP等でご覧
ください。

